

ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
「土と人情」に囲まれた。ナナミ
ちゃんの「私、土の子」奮闘記

12.18コン
ポストの上
で日向ぼっ
こ キキ太



目次

1 大根類を収穫	1
2 原木キノコが	2
3 一歩二歩散歩始め	2
4 チョコッと骨董	2
5 十二月のお味	2

ハイライト

12月2日 日本人宇宙
飛行記念日 1990年のこ
この日、テレビ局記者で
あった秋山豊寛氏が日本
人として初の宇宙飛行
へ。橘たちはな 七十二候
では「橘始黄たちばなはし
めてきばむ」。橘
のみが黄色く色づ
く頃で
す。橘は
ニッポン
タチバナ
という日 12.02アレ??陽ざ
しが消えた ハナ



本原産の柑橘類とされま
すが、古くはいろいろな
柑橘類の総称でもありま
した。古来、神聖な樹木
とされ、『日本書紀』で
は不老不死の力を持つ
「非時香果ときじくのかぐ
のこのみ」として登場」
年中いい香りを放つその
実を、常世とこよの国か
ら持ち帰ったとされてい
ます。雛人形の内裏雛で
も左近の桜 右近の橘が
飾られている。トトの
通った高校名も「橘」、
高校の近くを国鉄の線路
があり、回送する新幹線
が見えた。迂回路線で普
段は貨物列車が通ってい
たような? 最寄駅前には
日本電気(株)の工場が。半
世紀以上も前の記憶。

1大根類を収穫

沢庵漬を漬けなくなって久
しく、青首大根は病気になる
ようになってから、切干し大
根も作らなくなった。短い様
で長かった20数年間、作っ
た大根の種類や加工品も思い
出に・・・とは言え、食卓に
欠かせない役者の大根、青首
大根と赤大根に聖護院
大根がガン
バっています。

→赤大根は全
て収穫をし
て、聖護院大
根はトンネル
を作り直し残
した。



12.08↑少しだけ作って
いた赤大根を収穫する✓



✓聖護院大根を3本抜いた
が、マダマダ小さかった。



✓赤大根一本だけ白い大根
が、中身も白かった。



✓赤大根は葉を切り落とし、
新聞紙で包み保存する。



✓12.10赤大根畝の隣、青
首大根の収穫を始める。



↑12.16青首大根は
穴や芯が腐ったり肌
が虫食いなど不作。



↑12.10と16日の二日で
青首大根の収穫終わる。
近年の青首大根は不良。

2原木キノコが



✓12.24クリスマス
イブ裏の林は雨後に霧!!

✓12.02発芽
した原木椎茸を玄関土間運
び育成栽培始
める。→降雨
12.14力力雨
具を着てキノ
コ原木のシー
トを外し雨に
当てる。



✓12.03まだ残る
林の紅葉、この頃
から秋の椎茸が出
始める。→落ち葉
の上に伏せ置きし
た椎茸原木を点
検、椎茸が発芽を
していないか一本
一本確認が大変!!



↓12.14今年打込んだ
原木からナメコが1株!



3 一步二歩散歩始め

畑仕事も野菜収穫だけになり、力任せで歩かなくなったトト「散歩にゆこうヨ!!」力かに誘われ渋々と、コンビニも無く喫茶店に書店など無い無い何もない。見回せば山々に峰が続き、見上げれば千切れ雲、出会うのは猿か鹿か?猪か、まさか熊には!! 歩け歩け茅が岳まで歩け、まだ二回だけです、それも2000歩ほどユックリ一歩二歩散歩。



↑12.17散歩途中、見上げれば青空に千切り雲が。



12.18ノ家を出て北にハケ岳を望み、歩け歩け歩いて行こう。



↑南に富士山が? 見えるはずなんです、左下のマルチ3畝には玉ネギ苗が? 植えてある様子。この日は風も無く散歩日和。



歩け歩けハケ岳を後に、↑西にそびえる甲斐駒ヶ岳を後にして、上り坂を行く。



↑東に茅が岳、日本百名山の選定者でもある深田久弥の終焉の地。深田記念公園もあり、山頂からは奥秩父から南アルプス 富士山などが見渡せるとか? 登ってないので。

4 チョコッと骨董



ノ朝ドラ「ばけばけ」で登場した陶製 湯たんぽ



←店内は落ち着いた雰囲気、お客様が少ない時にはカウンターに座り、ウエルカム コーヒーを頂きながら骨董談義も楽し、店内で自分好みのモノを探す楽しみ。



↑店内右に¥100円からの小物が、来年の干支にちなんだ物も。

↑12月11日「アンティーク冬花」へ行った。山梨県北杜市須玉町若神子1701-2・中央高速道 須玉IC近くの国道141号線 信号「岩根橋東」脇にある。気さくな店主夫妻と安価な品が魅力。来年1月の営業予定日は 10日～20日(水曜日休業)



↑絵柄も楽しいローソク立て!! でもクリスマスは???



↑来年こそは!! 福を掃き集め? 大福でも食べましょ!!

5 十二月のお味

→冷凍してあったクサヤを七輪で焼き、骨などを丁寧に取り食べやすい身だけにして、うす味をつけた「くさや千切り」を作る

↓伊豆七島 新島 から青ムロアジの身を摺った「すり身」と、焼いて味付けをした「焼くさや千切り」が届いた。



伊豆七島 三宅島 から島の香り届く↑左上から無農薬 庭の橙とレモン、甘くサクサク牛乳煎餅、島の特産 身がシッカリした赤芽里芋、健康青菜の明日葉、右下から天然乾燥岩海苔。蒸かしたサツマイモの皮を剥きミンチ状にし乾燥保存、餅つきをする時に蒸し、別に蒸してあったモチ米と合わせて作る芋餅、焼くと柔らかくサツマイモの甘味が!! 島の景色を思い出す。

→九州 鹿児島から届いた芋焼酎 三岳とさつま島美人寒い冬はお湯割りが一番クサヤに合うヨ



暮れも押し迫り慌ただしい世間ですが、大掃除もせずに薪ストーブの炎にみいつてボーとしている私、農事通信の原稿書きが一向に進みません。カカは家族などに送る暮れの野菜収穫に忙しく、猫二匹も何かと落ち着かない? 今年も無事に終わりそうな年の瀬、皆様には良い年でありますよう祈っております。お元気で～エ